

「よこはまでつながる 暮らしの日本語」7月コース 実施報告

主催:(公財)横浜市国際交流協会

日本に来る外国の人の増加に伴い、学習スタイルも多様化しています。その中の一つがオンラインでの学習であります。

YOKEでは、ウェブ学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし」(通称「つなひろ」)を使ったオンライン日本語教室「よこはまでつながる 暮らしの日本語」7月コースを実施しました。

この教室では、日本語学習者が、「毎日の生活の中で日本語でできることを増やす」、「オンライン教材を知り、オンライン教材を使用した自律的な学習へつながる」ことを目的としました。

日常生活の中で日本語に触れる機会が限られている学習者は、「つなひろ」のシーンを見ながら状況・場面で使う言葉やフレーズに触れました。場面や状況にあった言い方が分からないときはサポーターの答えを聞き、このように答えるのだと分かり、自分の言葉で言いたいことを話すようにしていました。

今後もこのような教室活動を通して、学習者がより自然に近い会話に触れる機会を作りたいと思います。

「横浜でつながる 暮らしの日本語」7月コース 学習テーマ「おでかけ」

- 第1回(7/11): 電車に乗ろう
- 第2回(7/18): 道を聞いてみよう
- 第3回(7/25): レストランに行こう
- 第4回(8/1): イベントに参加しよう
- 第5回(8/8): 一緒に、でかけませんか



日時/場所	2024年7月11日・18日・25日、8月1日・8日 木曜日 19:00~20:15 全5回 オンライン(Zoom)
講師	小野里香さん(日本語教師) 片木尚子さん(日本語教師)
参加者・参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者:・横浜市内に住んでいる人・働いている人・横浜の学校に通っている人 ・ひらがなが読める人 ・日本語で簡単な会話ができる人 参加人数:11人(のべ36人) (韓国1 中国4 インド1 インドネシア1 台湾1 フィリピン1 アメリカ1 ベトナム1) <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター:横浜市内地域日本語教室で活動している方で、ICT(支援者向け)講座に参加した方など 参加人数: 5人(のべ 9人)



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!



「よこはまでつながる 暮らしの日本語」7月コース 実施報告

主催:(公財)横浜市国際交流協会

主な流れ

1全体活動 19:00~19:20

まずウォーミングアップとして、該当のシーンに関する内容を参加者全員で確認しました。
例えば、第1回目の「電車に乗ってみよう」の回では、楽しい話の場になるように、挨拶や「ありがとう」を母語で言ってみる、好きな色について聞いてみる、身の周りでその色を含むものを持ってきて見せ合うなどしました。
その後、日本で出かける際に、よく使う交通手段について聞いたり、電車の利用について確認後、どこに行くときに電車を利用したか、その行き方や所用時間などについて話しました。
このような活動を通して、教室はとても話し易い雰囲気になりました。

2グループ活動 19:20~20:00

2グループに分かれて行ったグループ活動では、講師・サポーター・学習者4~5人が一つのグループになり、「つなひろ」のシーン「なんばんせんですか」を視聴しました。
どんな場面でのやりとりなのかを考えながら、流れてきた音声の中で聞こえた言葉やフレーズを言いました。その後は、内容の確認・大意を理解するためもう一度動画の視聴を行いました。
つづいて、電車を利用する場面で必要なフレーズ・スクリプトに触れ、ペアでの練習を行ったり、自分の経験を自分の言葉で自由に発話するタイムにしました。
学習者が質問などに、どのように答えたらいいかわからないときなどは、サポーターがサポートし、回答例や正しい言い方、話し方を聞くなどの学習を進めました。
また、内容によってグループ活動では、クイズ形式で問題をだし、学習者が当てるような楽しいやり方も取り入れました。

3全体活動 20:00~20:15

グループ活動後、全員が集まったときは、参加者みんなの表情が楽しそうな笑顔になっていました。
最後の全体活動では、グループで出た話などを共有したり、横浜情報を取り入れたりしました。
1回目のテーマ「電車の乗ってみよう」では、横浜駅を通る電車(私鉄、JR,地下鉄)などに触れ、より横浜について知る機会となりました。
また、教室活動の中で印象に残ったことばやフレーズを学習者が書くことで、振り返りにつながり、自律学習への一助になるようにしました。

学習者の声

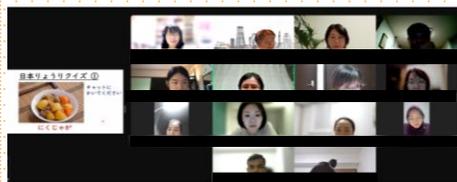
- 日本語が以前より(少し)上手になった。
- 生活に不安に思うことが少なくなった。
- 日本の文化・習慣で分かることが増えた。

サポーターの声

- ・クイズ形式で話をした後ビデオを見て、オンラインで勉強していくことが分かりました。
- ・学習者が住まいの周辺のお店などを教えてくれました。みなさんと話をして楽しかったです。
- ・学習者の話を拾い、会話を発展していました。

講師の声

- ・「つなひろ」を使用した教室はほかにはないので、いいと思った。映像があるのは、分かりやすい。学習者も少し話せる人限定だったので支援しやすかった。
- ・「つなひろ」を使うのは初めてだったので、不安があったが、「学習者は話す場を求めている」これで良かったと思った。最終回では学習者同士の関係性もできていたと思う。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!